6/22 @FUKUOKA
国内学生保護者会

私がAPUで見つけた挑戦と成長

高尾　勇吹

STUDIO
SHODWE

目次

自己紹介

なぜAPUに入学したのか

学部での学び

課外活動

将来について

STUDIO
SHODWE

自己紹介

- 名前　高尾勇吹
- 所属　国際経営学部　三回生
- 出身　福岡
- 高校　筑陽学園高校
- 年齢　2004年 20歳
- 趣味　サッカー、サウナ、旅

STUDIO
SHODWE

なぜAPUに入学したのか

- 世界、自分を変える
- 他の大学にない個性豊かなカルチャーに触れる

STUDIO
SHODWE

入学当初の思い

- やりたい事を全部やる
- 自由にたくさん学ぶ
- 全世界に友達を作る

STUDIO
SHODWE

１年生：GASSの挑戦

- 自由企画リーダーとして
  新企画立 ち上げ
- 参加率向上、
  志望者数増加に貢献

STUDIO
SHODWE

GASSでの学び

- APUの魅力
- APUの認知度の低さ
- リーダーシップ
- 多様性理解

STUDIO
SHODWE

2年生：APUSHION起業

- 家具家電リユース事業
- キャリアイベント事業の立 ち上げ背景

STUDIO
SHODWE

APUSHION の成果

- 別府地域企業との協業
- 協賛獲得
- メディア露出

STUDIO
SHODWE

JETROシンガポール起業家プログラム

- 世界の挑戦者と交流
- 広がった視野と自信

STUDIO
SHODWE

就職活動

- 戦略 コンサルやITのインターンに挑戦中
- 軸は「挑戦」と「裁量」
- 留学でさらに選択肢を広げ、ボスキャリにも挑戦予定
- APUは企業にも魅力が伝わる大学

STUDIO
SHODWE

今後の挑戦：
カナダへ交換留学

- 英語力向上
- 海外で通用する人材へ

STUDIO
SHODWE

将来の夢・
キャリアビジョン

- ビジネスの観点から世界を動かす
- 挑戦を続け、世界を知り、
  次世代を作る

STUDIO
SHODWE

APUで得た力

行動力、挑戦力、世界と繋がる力

STUDIO
SHODWE

後援会の皆様へ

挑戦を続けられるのは、家族の支えがあるからです。

APUは可能性に満ちた環境。

だからこそ、挑戦する背中を応援してください。

STUDIO
SHODWE

THANK YOU!!